

「原水爆禁止 2019 年世界大会」にご参加の皆様をはじめ、長年にわたって核兵器のない平和で公正な世界の実現に向けてご尽力されている皆様の取組に対し、心より敬意を表します。

「核兵器も戦争もない平和な世界」の実現を目指し、安心して暮らすことができる世の中を世界人類が願っているにもかかわらず、世界各地では紛争やテロが続き、尊い命が奪われるなど、恒久平和は実現していません。

三浦市では、昭和 29 年の太平洋ビキニ環礁における水爆実験により、三崎港から出漁していたマグロ船が被災し、マグロ船主と市場経済は大混乱になったという、悲惨な体験をしています。

そのような歴史的体験をふまえ、本市では平成 3 年に非核三原則の完全なる遵守を求め、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願う「核兵器廃絶平和都市宣言」を行い、翌年には「折鶴」をモチーフとした平和祈念モニュメントを建立しました。また、「平和首長会議」へ加入し、平和を愛する心を次の世代へ繋いでいけるように願いを込め、非核・平和に向けた活動を進めております。

核兵器全面禁止・全面廃絶を求め、真の恒久平和を実現することは、世界で唯一の被爆国である日本の、そして人類普遍の願いであり、同時に私たちの責務でもあります。

「核兵器のない世界」の実現をめざした本大会の平和を祈る取組が世界の人々の心に届き、世界平和の礎となりますよう祈念しメッセージといたします。

令和元年 8 月

三浦市長 吉田英男